

月刊 やちまなこ

2025. 3.15 発行

No.328

3月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより

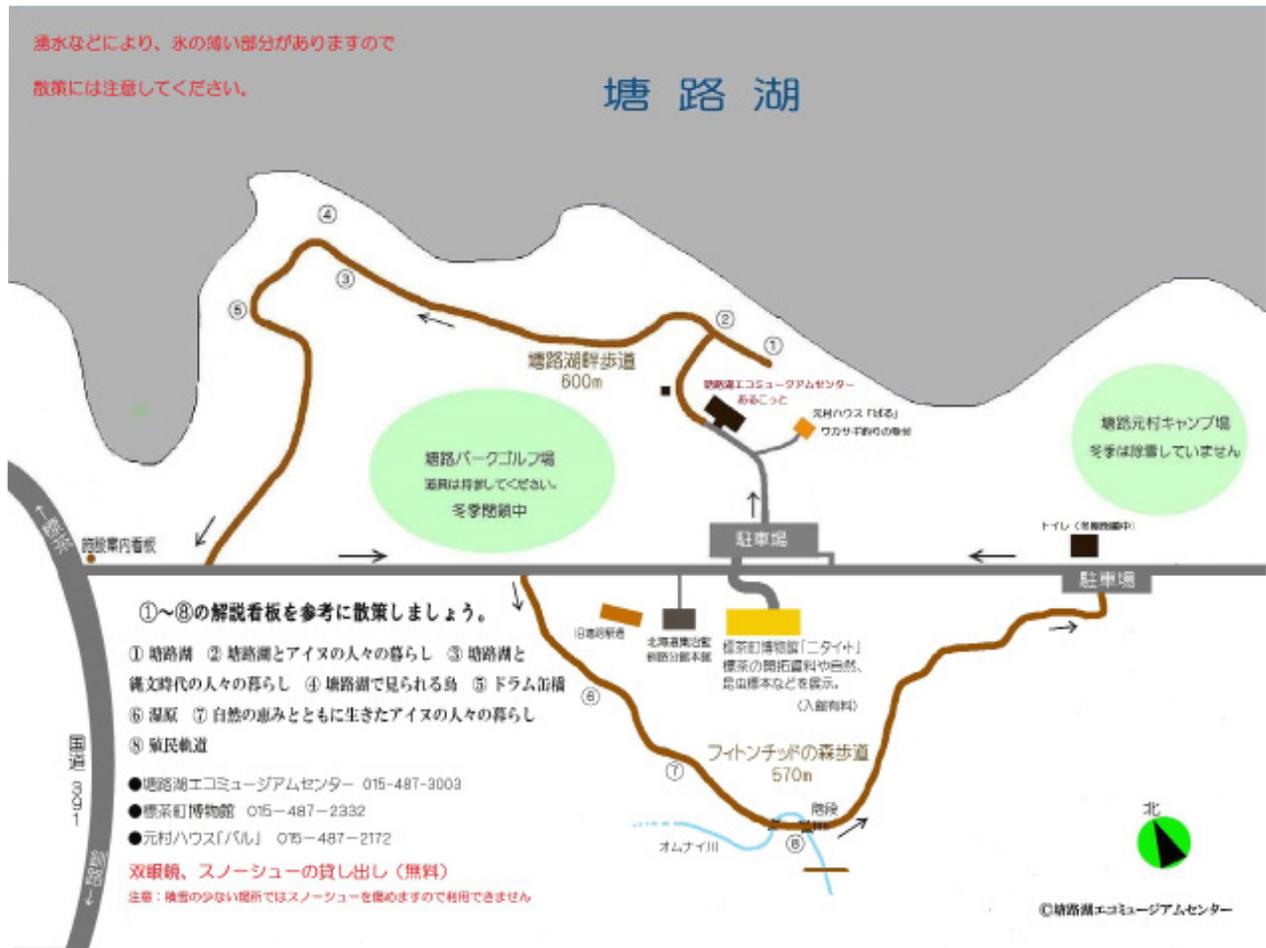


SL 冬の湿原号 [C11 171]

厳冬の釧路湿原は樹氷が解けてしまう時間帯が徐々に早くなってきた。エゾシカや野鳥の動きが活発となり、山肌には露の臺やキタミフクジュソウが、間もなく花を咲かせる。

塘路駅にSL冬の湿原号が入ってくると、いつもは静かな駅のホームが多くの人たちで賑やかとなり、その車両を取り囲む笑顔が嬉しくなる。SLが発車をすると、乗客と見送る人たちが手を振り合って、なんとも和やかな時間が流れていく。

SL冬の湿原号は今年で運行25周年。このような風情ある光景が、長く続いていくことを祈るばかりである。



塘路フィールドノート【2/15～3/14】

【野鳥・植物・哺乳類】

暖冬の割りに、今季は冬鳥の猛禽が多くヒワ類が少なかった印象。まだ目立たないが、既に夏鳥の姿も見掛けるようになった。冬の猛禽類の貴重な餌は野鼠などの小型哺乳類であるが、融雪で顔を出し始めた芝地で僅かな食糧を探していた。珍しい狐も、



ケアシノスリ (クチョロ線)
冬に渡ってくるノスリ。湿原の上空でホバリングをしながら獲物を探していた。タカ科



ハイロチュウヒ (釧路湿原)
冬鳥。オスの体色が灰色なことからこの名前がある。草原の上を滑空し獲物を狩る。タカ科



コムミズク (塘路湖)
冬鳥。これも草原を舞い野鼠などを狩る猛禽類。夕暮れに飛翔し獲物を探す。フクロウ科



ホオジロ (クチョロ線)
夏鳥。道東域ではあまり見掛けない野鳥。今年当たり年なのか多く見掛けた。ホオジロ科



エゾヤチネズミ (塘路湖畔)
除雪で顔を出した芝地に食糧を探す。ニシキギの実を食べていた。キヌゲネズミ科



ギンギツネ? (釧路湿原)
7月に見掛けて以降、久しぶりに現れた全身が黒い狐。最近は随分有名になった模様。イヌ科

○雪山のスノーシューハイクを満喫

2月15日(土)は自然ふれあい行事の一環として、サルボ展望台からシラルトロ湖までのスノーシュートレッキングを楽しみました。

青空の下、スノーシューを装着してスタートし、10分ほどの登りでサルボチャシへ到達。分岐からサルボ展望台を経由。そこからは緩い下りで雪質もよくスノーシューのメリットを体感しました。途中、平坦な場所にある昭和初期の炭焼きの遺構で長めの休憩時間を取って、次の登りに備えました。休憩後は小山を超えて尾根歩きをしつつ、徐々に標高を下げていくと11:30にはシラルトロ湖南岸に到達。広大な雪原と釧網本線が臨める場所で昼食タイムを取りました。一度も訪れたことのない風景に参加者が撮影や談笑を楽しんでいると、そこにSL冬の湿原号が煙を上げて通過する時刻となり、その勇姿を夢中で撮影していると、折り返し時刻となりました。復路は往路より起伏の少ないルートで体力と時間の節約を図り、13時ちょうどにイベントの終了となりました。ご参加頂いた皆様、有難うございました。

気温-7℃ 晴 参加者 13名



シラルトロ湖南岸



SL冬の湿原号

○塘路湖の自然現象を観察

3月1日(土)は、春間近の塘路湖をスノーシューで移動し、塘路湖北岸の標高70m地点までトレッキングし氷丘脈地点をゴール地点とするイベントを実施しました。

春を思わせる雲一つない青空の下、結氷した塘路湖でスノーシューを装着して出発。スタートして10分ほど歩くと樹上にオジロワシのペアを確認しました。さらに進むと北岸にオオワシの飛翔個体が5羽以上確認できました。塘路湖の広大な氷原を感じながらスタートから40分ほど歩いてモヤサムという場所にて休憩後、北岸の森を登攀して標高70m地点に到達。眼下に塘路湖を眺めたあと、柔らかい雪質を下って湖に再度出ると氷丘脈の名残が見えました。近くにある開拓時代の神社跡の灯籠などを見たあと復路スタート。途中東方向へ飛翔するタンチョウとも遭遇し、天然記念物3種の歓待を受けた氷上歩きとなりました。

気温4℃、快晴 参加者 12名



トレッキング風景



氷上を飛ぶオオワシ

【開館時間変更のお知らせ】

4月1日(月)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○10:00～16:00 → **10:00～17:00** (10月31日まで)

4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月26日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

温根内木道の植物ダイジェスト

[日 時] 4月20日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

令和7年度 自然ふれあい行事予定表

<p>●早春の湿原 野鳥観察会 4月26日(土) 10時～12時 定員15名 渡り鳥の中継地シラルトロ湖周辺で、講師の解説を聞きながら野鳥観察を楽しみましょう。</p>	<p>●晩秋の湿原 野鳥観察会 10月18日(土) 10時～12時 定員15名 ヒシクイやオオハクチョウなどの渡り鳥が飛来する時期です。秋から冬にかけての野鳥の暮らしを観察します。</p>
<p>●哺乳動物の頭骨を観察しよう 4月26日(土)～5月5日(月)10時～17時 キタキツネ、エゾタヌキ、海獣類など、北海道に生息する様々な哺乳類の頭骨を展示しています。 (標茶町博物館共催行事)</p>	<p>●ムックリを作ってみよう 11月15日(土) 13時～15時 定員15名 アイヌ民族の伝統的な楽器、ムックリ(口琴)を作る体験講座です。作ったムックリを鳴らしてみましょ。 (標茶町博物館共催行事)</p>
<p>●新緑直前の樹木を見てみよう 5月3日(土) 10時～12時 定員15名 塘路湖周辺の森を散策しながら、冬を乗り切って芽吹く直前の樹木を観察します。</p>	<p>●クリスマスリースを作ろう 11月29日(土) 13時～15時 定員15名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。</p>
<p>●塘路湖東端秘境の砦(チャシ)探検 5月17日(土) 10時～12時 定員15名 塘路湖東岸に降り立ち、秘境の砦リーチャシを目指して歴史探訪します。総移動距離3.2km(標茶町博物館共催行事)</p>	<p>●小麦粉粘土で楽しもう 12月6日(土) 13時～15時 定員15名 塘路湖周辺の自然素材から抽出した顔料を用いて、小麦粉粘土であそぶ児童対象のイベントです。※小さなお子様は要保護者同伴</p>
<p>●初夏の湿原 展望台散策 6月21日(土) 10時～12時 定員15名 サルルン展望台からサルルン沼で子育てをするアカエリカイツブリの奮闘を観察します。</p>	<p>●アイヌ刺繍講座 1月10日(土) 11時～15時 定員15名 塘路湖周辺のアイヌ文化について学び、アイヌ民族の紋様を刺繍に取り入れたマタンプシを作ります。</p>
<p>●縄文土器作り講座 7月5日(土) 10時～14時 定員15名 塘路湖周辺には縄文時代の遺跡があり、実際に出土した土器を参考に作る講座です。(標茶町博物館共催行事)</p>	<p>●塘路湖水面上ノーシューで氷丘脈(御神渡り)へ 1月17日(土) 10時～12時 定員10名 ノーシューで塘路湖の氷上を歩き、周辺の自然とチャシ跡を観察しながら、例年氷丘脈ができる場所を目指します。総移動距離5km</p>
<p>●夏休み! 塘路湖畔の昆虫を探そう 7月26日(土) 10時～12時 定員15名 真夏の塘路湖畔で水辺や花、樹液に集まる昆虫を観察しよう。</p>	<p>●シラルトロ湖・蝶の森スキーハイク 2月7日(土) 10時～12時 定員10名 凍った湖を散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。ハイク用スキー使用。総移動距離3.3km</p>
<p>●森林について学ぼう 8月30日(土) 10時～12時 定員15名 森の中を散策しながら、森林の仕組みや夏のキノコについて学ぶ観察会です。</p>	<p>●サルボ～シラルトロ湖ノーシューハイク 2月21日(土) 10時～13時 定員10名 標高70mの小山を2つ越えてシラルトロ湖に降り立ちます。ノーシュー使用。行動食持参。総移動距離3.5km</p>
<p>●野生生物の「擬態」を見て歩こう 9月27日(土) 13時～15時 定員15名 釧路湿原に暮らす生物が、天敵から身を守るために、生まれながらにして備えている工夫について学ぶ観察会です。(標茶町博物館共催行事)</p>	<p>●晩冬の塘路湖の氷上を歩こう 3月7日(土) 10時～12時 定員10名 冬が終わる前の塘路湖で猛禽類や自然現象を観察します。ノーシュー使用。総移動距離4.3km</p>

※「哺乳動物の頭骨を観察しよう」以外は、事前の申し込みが必要です。

◆日出・日入時間 2/15(6:19,16:52). 2/28(5:59,17:09).3/14(5:35,17:26)

～指導員のひとり言～

■釧路湿原の厳しい冬が終わりを告げようとしています。季節は移ろう釧路湿原には、いつの間にか夏鳥たちが姿を見せるようになってきました。

シラルトロ湖にはヒシクイが渡ってきて、湖氷から僅かに覗く水辺で水草を食しています。しばらく羽根を休めたあと、更に北へ北へと旅立つのでしょうか。

山肌には福寿草が咲き始めました。暖かい春はもうそこまで来ているのかも知れません。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料